

○評価結果の見方(継続事業)

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				達成度 指標の達成状況	妥当性 指標の目標水準	効率性 事業の必要性	有効性 市の関与	公平性 事業手法	公平性 事業の統合	公平性 コスト削減の工夫	公平性 成果向上への見直し	公平性 施策効果	公平性 受益者負担の見直し	一次評価結果	二次評価結果	評価理由			
						17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度														19年度	20年度	
例	イベント	福祉ふれあいフェスティバル事業	健康福祉局地域福祉課	○事業開始年度 平成4年度 【概要】多くの市民並びに各福祉関係団体や社会福祉施設が多様な催しを通して相互に交流し、福祉に対する関心と理解を深め、地域福祉を推進する。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・ふれあいコンサート ・わくわくバザー ・福祉関係団体による模擬店 ・障害者(児)とのスポーツ交流	国補助	[概算コスト] 13,287 (内訳) ・決算額 10,315 ・人件費 2,972 (0.70人)	[概算コスト] 13,287 (内訳) ・決算額 10,315 ・人件費 2,972 (0.70人)	[概算コスト] 13,045 (内訳) ・決算額 10,000 ・人件費 3,045 (0.70人)	[概算コスト] 13,732 (内訳) ・予算額 10,726 ・人件費 3,006 (0.70人)	フェスティバルイベント数 (単位:回)	[目標値] 33 [実績値] 30 〈達成率〉 90.9%	[目標値] 33 [実績値] 32 〈達成率〉 97.0%	[目標値] 33 [実績値] 33 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 33 [実績値] 33 〈達成率〉 100.0%	参加者数 (単位:人)	[目標値] 25,000 [実績値] 26,000 〈達成率〉 104.0%	[目標値] 26,000 [実績値] 26,000 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 26,000 [実績値] 26,000 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 26,000 [実績値] 26,000 〈達成率〉 100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A	A	現状のまま継続 (理由) 市民の福祉に対する理解を深めるために、市民、福祉関係団体、社会福祉施設などが、催しを通して交流することは必要である。

各欄毎の見方の説明

A

事業区分が記入されています。
【市民参画】
 ・市民参画を図るもの。
【相談】
 ・市民からの相談に対応するもの。
【許認可・検査】
 ・許認可や検査などを実施するもの。
【監視・規制】
 ・監視、規制や指導などを実施するもの。
【助成・育成】
 ・市民や市の活性化のために補助金等の交付などを通して助成・育成等を図るもの。
【イベント】
 ・イベントの実施や実施を支援するもの。
【啓発・広報】
 ・広く市民等に情報を伝達し、啓発や広報を図るもの。
【調査・研究】
 ・事業の実施等に向けて調査・研究するもの。
【社会基盤・都市施設基盤】
 ・インフラの整備を図るもの。
【施設維持・管理】
 ・インフラの維持を図るもの。
【市民サービス】
 ・市民の利便性を図るもの。
【内部管理】
 ・行政内部の管理業務を行うもの。
【その他】
 ・上記のいずれにも該当しないもの。

B

評価対象となる事務事業名が記入されています。

C

事業を実施する部局名・課名が記入されています。

D

事業開始年度、概要、対象者、活動内容が記入されています。

E

財源の内訳として、特会、国補助、県補助、国・県補助、市単が記入されています。
 ※特会是一般会計以外であることをあらわし、それ以外について、国補助、県補助、国・県補助は、国や県から補助があることをあらわし、市単は、国や県から補助がないことをあらわしています。

F

直接経費に人件費を加えた総事業費が記入されています。
 ※20年度の数値は、年度当初における予定数値です。
 なお、契約に影響のある事業の予算額は未記入です。

G

主な活動指標と、その目標値・実績値が記入されています。
 ※活動指標とは、事業を実際に執行した際の活動実績をあらわした数値です。
 ※20年度の数値は、年度当初における予定数値です。

H

主な成果指標と、その目標値・実績値が記入されています。
 ※成果指標とは、行政活動を実行することにより得られた成果を明確にした数値です。ただし、一部については数値化が困難なため、数値では記入していません。
 ※20年度の数値は、年度当初における予定数値です。

I

達成度、妥当性、効率性、有効性、公平性の五つの視点について、◎、○、△の三段階(ーは対象外)で評価しています。
【達成度】
 ・指標の達成状況
 成果指標(又は活動指標)の目標の達成状況について評価しています。
 ・指標の目標水準
 成果指標(又は活動指標)の目標水準は最適であるか評価しています。
【妥当性】
 ・事業の必要性
 必要性について評価しています。
 ・市の関与
 市が関与すべきかについて評価しています。
【効率性】
 ・事業手法
 事業手法の検討は十分かについて評価しています。
 ・事業の統合
 類似事業との統合や関連事業との連携ができないかについて評価しています。
 ・コスト削減の工夫
 上記手法のほか、コスト削減を図る工夫は十分にできているかについて評価しています。
【有効性】
 ・成果向上への見直し
 成果を向上させるための事業見直しは十分にできているかについて評価しています。
 ・施策効果
 上位施策の目的実現に、効果があるかについて評価しています。
【公平性】
 ・受益者負担の見直し
 受益者負担は適切であるかについて評価しています。

J

事業実施課による評価結果が記入されています。
 ※「A:現状のまま継続」、「事業手段の見直し(Ba:手段の改善等、Bb:事務事業の統合・振替)」、「C:縮小」、「D:休止」、「E:廃止」「F:終了」のいずれかの評価結果となっています。

K

行政評価推進委員会による評価結果が記入されています。
 ※「A:現状のまま継続」、「事業手段の見直し(Ba:手段の改善等、Bb:事務事業の統合・振替)」、「C:縮小」、「D:休止」、「E:廃止」「F:終了」のいずれかの評価結果となっています。

L

行政評価推進委員会による評価結果の理由が記入されています。